

## 修学旅行親子 TV 会議

- とどけ！ 広島からのメッセージ -

小学校 6 年 修学旅行

滋賀県マキノ町立マキノ北小学校 松田 幸夫

bohemian@with.love2.ne.jp

http://www4.justnet.ne.jp/~mk-kuri/

キーワード：TV 会議，マルチメディア，地域の情報化，表現力，インターネット，少人数校

### 1. はじめに

「e-Japan 戦略」など国家戦略的な施策により、「教育の情報化」についても様々な形で推進されている。環境整備の面でも、地方交付税措置による計画的整備がなされ、機種変更も容易に行えるなど、よりフレキシブルな活用が図られている。本校でも、この「e-Japan 重点計画 2002」の目標達成向け取り組んでいるところである。

本実践では、TV 会議システムを活用したプログラムの一つ「修学旅行親子 TV 会議」から、本校のマルチメディア教育の取り組みを紹介したい。

### 2. 実践の目的

本校では、「マルチメディアによるコミュニケーション能力・表現力の伸長」のテーマ設定のもと、下記の 4 点を目標として進めてきた。

- (1) 少人数の子どもたちが、多様な意見や考え方に触れるリアルタイムのコミュニケーションの場を通して一人ひとりの表現力の育成を図る。
- (2) お互いの地域の特色を直接 TV 会議を通して交流し、身近に感じる新鮮な驚きや感性を大切に、地域学習の再発見に役立てる。
- (3) TV 会議での事前および事後の連携を図るため、インターネットを活用した情報活用能力の育成をはかるとともに、E-mail やホームページでの交流を行う。かつ校内情報の有効利用と機器の効率的運用を図るため校内 LAN を活用している。すべての教室からインターネットができる環境を利用し、TV 会議の事前学習をより有効に生かす新しい活用方法を探る。
- (4) 公の施設として「地域の情報化」へ取り組むための様々な実践を行うことにより、学校が地域と一体となり情報化を進めていくことで、E-mail など新たなコミュニケーション手段を確立することができ、より連携を深めることができる。

### 3. 実践の内容と方法

The image shows a detailed implementation plan for a parent-child TV conference during a school trip. It includes a title, objectives, a diagram of the TV conference system connecting parents and children, and a schedule for the event. The diagram shows a parent (保護者) and a child (児童) connected via a TV conference system (TV会議システム) at Maeno North Elementary School (マキノ北小学校) and NTT Hiroshima (NTT広島). The schedule lists the date as Friday, May 23, 2002, from 2:00 PM to 6:00 PM, at the Maeno North Elementary School (Maeno City, Hiroshima Prefecture) and NTT West Japan Hiroshima Branch. It also includes contact information and a detailed agenda.

#### (1) この事業の目標

- (a) 保護者 児童が日々活用している TV 会議システムを体験することにより、本校のマルチメディアを活用した教育を理解してもらう。
- (b) 児童 今日の修学旅行の感想や見たものを自分の言葉・デジカメ画像を TV 会議システムを通じて保護者に伝える。
- (c) 学校 限られた時間で相手に伝えるためにはどうすればいいか。何を伝えればいいか等児童の考えを支援する。保護者に TV 会議の仕組みを理解してもらうための資料作成、説明や質問への回答ができる。



図1 保護者（学校）



図2 児童（広島）



図3 健康状況報告（広島）

## （2）実施にあたって

今回のこのプログラムでは、1．修学旅行先から今日あったことをTV会議システムを通じて話すことにより、コミュニケーション能力・表現力の育成を図る。2．保有機器の新たな活用の可能性を探る。3．親子のコミュニケーションを促進する。の3点を大きなねらいとして位置づけ、企画を行った。本校ではNTTのTV会議システム「フェニックスwide2」と「フェニックスmini」を保有して、場面に応じて活用してきている。今回のプログラムでは新たな可能性を探る意味での実施となった。

当初は、宿泊先からのTV会議を計画していたが、ISDN回線の使用ができないことがわかり、NTT西日本広島支社の会議室を借りての実施となった。実際のTV会議では、デジタルカメラを接続して、今日の様子を学校にいる保護者に向けて話すことから始めた。その後、親子間でのTV会議を行った。親子間でのTV会議は子どもたちも初めての経験で、少し緊張していた様子も見られたが、図1・図2のようにすぐにこやかな雰囲気になった。保護者も学習参観では見ているため、比較的なじみやすかったのではと理解している。

また、広島から児童の健康状態の報告（図3）もおこない、「元気であるだろうか。」という保護者の不安解消にも役だったと考える。

## 4．成果と課題

本校では、過去4年間全国の学校や社会教育施設などとTV会議を用いた交流学习を実施してきた。各教科や総合学習、学活などで、「少人数の子どもたちが、多様な意見や考え方に触れるリアルタイムのコミュニケーションの場を通じて、表現力の育成を図る。」の目標の達成に向け取り組んできた。

児童たちは、これら交流授業の中で「相手の話を聞く」「自分の考えをまとめる」「自分の考えを話す」など、自分なりの表現で相手に伝えることを学んできた。今回の修学旅行親子TV会議ではこうして培ってきたコミュニケーション能力が役立った。

### （1）児童の感想

しゃべろうとしたことを忘れてしまった。おもしろかった。

とてもはずかしかった。電話のほうがよかった。

家の人とテレビ会議をするのは初めてだったので、すごくドキドキした。

### （2）保護者の感想

今日の楽しい様子がよく分かった。初めての試みを体験させていただいてありがとうございました。

私たちも修学旅行に行ったようで大変よかったです。

声と画像が少しずれるのに慣れるまで少し時間がかかったです。でもとってもよかったです。

リアルタイムの画像が見れてよかった。

### （3）学校としての反省点

TV会議システムの活用について説明する時間の確保。

時間・場所の設定（NTTの協力が大きい。）

子どもが発表するために考えを整理する時間の確保（できれば宿泊先からできるといい。時間と安全面）

## 5．まとめ

今回のプログラムは、親子の限定した対話形式をとったが、保護者の感想にもあるように概ね成功であった。全員の保護者から次回も続けて欲しいという意見も聞いたため、来年度の修学旅行の企画にも反映させた。

今後は、公の施設として「地域の情報化」にどのような役割を果たしていくことができるか、また、施設設備の有効活用を図っていくための一つの方向性が見いだせたと考える。さらに来年度実施する「北地区デジタル写真館」の関連プログラムとして地域住民対象のTV会議を企画し、「地域の情報化」へとこの取り組みをステップアップしていきたい。